

### <概要>

「電気事業法」および「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」に基づき、平成5年度に報告された事故・トラブルの件数は、17件であった。平成5年度の営業運転基数は46基で、一基当たりの報告件数は0.4件である。この17件の内訳は、運転中に発生したものが6件、定期検査での原子炉停止中に発見されたものが7件、定期検査での調整運転中又は発電再開準備中に発生したものが3件、その他1件であった。これらの故障・トラブル等による原子炉施設の周辺への影響はなかった。

### <更新年月>

1998年05月           （本データは原則として更新対象外とします。）

### <本文>

「電気事業法」および「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」に基づき、平成5年度に報告された事故・トラブルの件数は、17件であった。平成5年度の営業運転基数は46基で、一基当たりの報告件数は0.4件である。この17件の内訳は、運転中に発生したものが6件、定期検査での原子炉停止中に発見されたものが7件、定期検査での調整運転中又は発電再開準備中に発生したものが3件、その他1件であった。これらの故障・トラブル等による原子炉施設の周辺への影響はなかった。

平成5年度の実用発電用原子炉施設における故障・トラブル等の概要（電気事業法及び核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律に基づき報告があったもの）を [表1-1](#)、[表1-2](#) および [表1-3](#) に示す。

### <関連タイトル>

[日本の原子力発電所における事故・故障・トラブルの推移（2005年度まで）\(02-07-01-01\)](#)

[日本におけるBWR原子力発電所の主要な事故・故障・トラブル（2005年度まで）\(02-07-01-02\)](#)

[日本におけるPWR原子力発電所の主要な事故・故障・トラブル（2005年度まで）\(02-07-01-03\)](#)

[平成5年度試験研究用原子炉における事故・故障\(12-03-01-14\)](#)

[平成5年度放射性同位元素等取扱施設における事故・故障\(12-06-01-14\)](#)

### <参考文献>

(1) 原子力安全委員会（編）：平成6年版 原子力安全白書 大蔵省印刷局（1995）

# 表1-1 平成5年度の故障・トラブル等の 評価状況（その1）

発生日月	発電所名	概要	尺度
93. 4. 3	日本原子力発電(株) 東海第二発電所	定格出力運転中、原子炉格納容器内の格納容器冷却器ドレン量に増加が認められたため、原子炉手動停止。 原因は、原子炉再循環ポンプのシール漏えい検出配管に設けられた流量検出器に付着物があったことから、シール水が排出されず軸封部カバーから漏えいしたため。	0-
93. 4. 6	九州電力(株) 玄海原子力発電所 1号機	定期検査中、蒸気発生器伝熱管の渦電流探傷検査の結果、管支持板部、管板上面直下部に有意な指示を発見。	0-
93. 4.14	日本原子力発電(株) 東海発電所	定期検査中、低圧タービンの探傷試験の結果、車軸の動翼取付け部の表面に損傷を発見。 原因は、低圧タービン製作時に動翼取付けピン周辺部に残った熱影響に起因する応力腐食割れが発生したため。	0-
93. 4.27	四国電力(株) 伊方発電所 1号機	定期検査中、蒸気発生器伝熱管の渦電流探傷検査の結果、管板拡張部に有意な指示を発見。	0-
93. 6. 2	関西電力(株) 高浜発電所 1号機	定期検査中、蒸気発生器伝熱管の渦電流探傷検査の結果、U字管部、管支持板部、管板拡張境界部及び管板拡張部に有意な指示を発見。	0-
93. 6.29	関西電力(株) 美浜発電所 1号機	定期検査中、蒸気発生器伝熱管の渦電流探傷検査の結果、管板直上部に有意な指示を発見。	0-

（注）法律に基づいて報告された故障・トラブル等の概要を集計

尺度：「国際原子力事象評価尺度(INES)」を適用。

（出典）原子力安全委員会（編）：平成6年版 原子力安全白書 大蔵省印刷局（1995）

# 表1-2 平成5年度の故障・トラブル等の 評価状況（その2）

発生年月日	発電所名	概 要	尺 度
93. 7.17	関西電力(株) 高浜発電所 1号機	調整運転中、格納容器床ドレンサンプの水位が上昇傾向を示したため、原子炉手動停止。 原因は、Bループ主蒸気管に設置している管台とベント管との溶接部に施工不良があり、運転時の蒸気の流れに伴う微振動により、当該溶接部にひび割れが発生・進展したため。	0-
93. 7.29	関西電力(株) 大飯発電所 1号機	定期検査中、蒸気発生器伝熱管の渦電流探傷検査の結果、管支持板部、管板拡張境界部及び管板拡張部に有意な指示を発見。	0-
93. 8.18	関西電力(株) 高浜発電所 1号機	定格出力で調整運転中、格納容器床ドレンサンプの水位が上昇傾向を示したため、原子炉手動停止。 原因は、一次冷却材ポンプ(B)計測用配管取替え工事に伴い配管支持状態が変化したこと、また当該配管の固有振動数とポンプ振動数とがほぼ一致していたことから、振動による応力が増大し、配管溶接端部に亀裂が生じたため。	0-
93. 8.18	関西電力(株) 美浜発電所 1号機	定期検査中、タービン回転上昇試験を実施したところ、タービン軸受油圧が通常値より低かったため、原子炉手動停止。 原因は、軸受油圧系統に異物（油等ふきとり紙）が詰まっていたため。	評 価 対象外
93. 9.21	日本原子力発電(株) 敦賀発電所 1号機	定格出力運転中、原子炉再循環ポンプ(B)の軸封部（メカニカルシール）に機能低下が認められたことから、当該軸封部を取り替えるため、原子炉手動停止。	0-
93. 9.24	九州電力(株) 玄海原子力発電所 3号機	試運転中、低圧タービンの軸振動が増加傾向を示したため原子炉手動停止。 原因は、低圧タービンの軸と軸封部の間隙が狭かったことにより、当該部分が接触したため。	評 価 対象外

（注）法律に基づいて報告された故障・トラブル等の概要を集計

尺度：「国際原子力事象評価尺度(INES)」を適用。

（出典）原子力安全委員会（編）：平成6年版 原子力安全白書 大蔵省印刷局（1995）

# 表1-3 平成5年度の故障・トラブル等の 評価状況（その3）

発生年月日	発電所名	概要	尺度
93.11.9	日本原子力発電(株) 敦賀発電所 1号機	定格出力運転中、原子炉格納容器内の格納容器冷却器ドレン量に増加が認められたため、原子炉手動停止。 原因は、原子炉再循環ポンプの軸封部漏えい検出配管に設けられたフレキシブルホースのたわみにより、流量計側滞留水との間に空気溜まりが形成され、軸封部漏えい検出配管の通水性が阻害されたため。	0-
93.11.16	関西電力(株) 美浜発電所 3号機	定期検査中、蒸気発生器伝熱管の渦電流探傷検査の結果、管支持板部、管板拡張境界部及び管板拡張部に有意な指示を発見。	0-
93.12.2	東北電力(株) 女川原子力発電所 1号機	起動中、原子炉給水ポンプ(C)を起動したところ、停止中の原子炉給水ポンプ(B)の逆回転が認められたため、原子炉手動停止。 原因は、原子炉給水ポンプ(B)吐出逆止弁の弁体のロックナットの締付けが不十分であったことから給水の脈動の影響により当該締付け部が摩耗し、弁体の着座がずれたため。	0-
93.12.22	日本原子力発電(株) 敦賀発電所 1号機	定格出力運転中、原子炉格納容器内の格納容器冷却器ドレン量に増加が認められたため、原子炉手動停止。 原因は、原子炉再循環ポンプの回転に伴う振動数と非常用復水器系(A系)の差圧検出取出し配管の固有振動数が、ほぼ一致していたことから共振により当該配管の溶接部が割れたため。	0-
94.2.18	関西電力(株) 美浜発電所 1号機	定格出力運転中、復水器空気抽出器ガスモニタの指示値が上昇したため、原子炉手動停止。	0-

(注) 法律に基づいて報告された故障・トラブル等の概要を集計

尺度：「国際原子力事象評価尺度(INES)」を適用。

(出典) 原子力安全委員会(編)：平成6年版 原子力安全白書 大蔵省印刷局(1995)